

新しい事業が起き、
人が集まる「すみだ」をつくる

基本目標
III

将来の姿

ものづくりのまちとして、
技術・技能の継承が円滑に行われているとともに、
さまざまな起業が盛んに行われ、
国際競争力をもった新製品や新技術が次々と開発されるなど、
新しい産業が生まれています。
また、消費者ニーズを的確にとらえた商品・サービスを提供できる
新たな商業空間では、
時間をかけて買い物を楽しむ多くの人々でにぎわっています。
そして、誰もが地域のなかで自分の能力を十分に発揮し活躍する、
活力にあふれた元気なまちになっています。

政策310 新しい価値を創造し、産業の進化・発展を図る

政策320 こたわりをもった魅力ある商業・サービス業の集積を進める

政策330 誰もが輝きをもって働けるしくみをつくる

政策310

新しい価値を創造し、産業の進化・発展を図る

令和7年度のすみだ

本区の産業集積は、社会課題の解決に取り組む、多様な業種の企業集積へと変容し、持続可能な社会の実現が必要となった時代に適応しています。多様な企業集積を基盤として、新しい技術やノウハウが産み出され、それに携わる人たちが大きな働きがいを感じています。



施策の体系

政策310 新しい価値を創造し、産業の進化・発展を図る

施策311 新たな社会課題等に対応できる人材を育て、区内企業の持続的な発展を図る

- フロンティアすみだ塾事業
- 産学官金連携の推進
- すみだビジネスサポートセンター
- STEAM人材育成
- ものづくりのまちの持続・発展に向けた連携事業

施策312 新しい事業を誘引し、産業集積の持続的な発展を図る

- ハードウェア・スタートアップ拠点構想事業
- 創業支援等事業計画
- チャレンジ支援資金の融資あっせん事業
- すみだ起業ゼミ

施策313 「ものづくりのまち すみだ」をプロモーションする

- すみだ3M運動推進事業
- ものづくりプロモーションの推進事業
- 墨田区ものづくり企業地域共生推進助成金
- すみだ地域ブランド戦略推進事業(すみだモダン)

政策を取り巻く現状

本区は近代産業の発祥の地であり、多種多様な業種の企業が集積するものづくりのまちです。現在も都内有数の産業集積が維持されており、産業振興は区民生活の向上や地域の活性化に大きく関わる重要な課題の一つとなっています。1979(昭和54)年には「墨田区中小企業振興基本条例」を制定し、区民、事業者、区が一体となって、区内中小企業の振興を推進する基本方針を明らかにし、全国の先駆けとなる様々な事業を展開しています。

しかしながら、区内産業を取り巻く環境は厳しい状況が続いています。産業構造の転換による生産現場の海外移転や経営者の高齢化、後継者不足などの影響から、1970(昭和45)年に9,703事業所であった区内の工場は、2016(平成28)年には2,154事業所にまで減少しました。直近では、新型コロナウイルス感染症の影響により急速に変化する操業環境への対応も迫られています。こうした厳しい環境でも、高い志を持った後継者を中心としたネットワーク形成や、デザイナーやクリエイター、ベンチャー企業などの集積、地域の発意による事業展開といった、地域産業の盛り上げにつながる動きも生まれています。

また、世界的な潮流として、SDGsへの取り組みが、資金調達や新事業展開、人材採用などあらゆる面で大きな影響を及ぼすようになっており、中小企業においても積極的に取り組む事業者が増えています。

政策実現に向けての課題

今後も、本区に根付いた「ものづくり」を守り続けていくためには、ものづくりの形を今の社会状況に合わせて変革させる必要があります。

新型コロナウイルス感染症は、働き方の変化を加速させるとともに、企業の存在意義の見直しも迫りました。テレワークや複業など柔軟な働き方が普及したことで、働きがいの感じ方にも変化が

生じており、一人ひとりの暮らし方に合った働き方を提供することが求められます。

一方、持続可能な社会の実現が叫ばれ、SDGsが急速に浸透していますが、区内の事業者に取り組むことのメリットと取り組まないことのデメリットが広く共有されているとは言えない状況にあります。今後は、経済活動を通して地域課題を解決し、社会の役に立つことが企業に求められることから、このような企業を集積させるとともに、多様なネットワーク形成を促進する仕組みを構築する必要があります。

区においても、こうした激しい時代の変化に対応した施策展開を可能とする組織体制の構築や、短いスパンでの施策の見直しを行うことが重要です。

本政策に関連するSDGsの目標



施策311

新たな社会課題等に対応できる人材を 育て、区内企業の持続的な発展を図る

令和7年度のすみだ 新しい課題に対応できる区内事業者がいっそう増加し、企業連携による新たなビジネスモデルが創出されることで、区内産業の活性化がさらに進んでいます。

施策の構成をはかる指標

フロンティアすみだ塾への参加者累計数

2015(平成27)年度		2020(令和2)年度		2025(令和7)年度	
実績値	137人	中間目標値	187人	現状値	189人
				最終目標値	237人

データ出所:所管課データ

すみだビジネスサポートセンターのコーディネートによる企業連携累計数

2015(平成27)年度		2020(令和2)年度		2025(令和7)年度	
実績値	—	中間目標値	13件	現状値	13件
				最終目標値	65件

データ出所:所管課データ

現状と課題

フロンティアすみだ塾の実施のほか、すみだビジネスサポートセンターでは年間約4,000件の相談を行うなど、既存の区内事業者支援は一定の成果を挙げています。一方、変化し続ける社会経済状況においては、予測困難な将来にも対応できる人材育成が求められており、区内事業者や大学等と連携し、新たな社会課題等に対応できる人材育成に取り組んでいく必要があります。また、区内事業者や大学等が有する経営資源を組み合わせて新たな価値を創出していくための幅広い連携体制を構築していく必要があります。

課題に対応できる人材や意欲の高い後継者・若手経営者等の育成を支援します。また、区内産業を活性化させていくため、区内事業者の経営改善や事業の再構築、新規事業創出や事業者間連携を支援します。

区民、事業者が取り組むこと

区民は、本区がものづくりのまちであることへの理解を深めるとともに、製品開発への気づきを与える等、事業者を積極的に応援します。

事業者は、後継者や技術者等の企業に欠かさない課題解決ができる人材を積極的に育成するとともに、地域と産業の活性化のために事業者間の連携を深めていきます。

施策達成のために区が取り組むこと

区内産業を維持、発展させていくため、新たな

施策達成のために区が取り組む主な事業

フロンティアすみだ塾事業 SDGsの目標・8

区内企業の後継者や若手経営者が区内産業の次代を担う意識の高い人材へ成長するためのきっかけづくりの場となるよう、時代の変化に対応しながら私塾形式のビジネススクールを開催します。

産学官金連携の推進 SDGsの目標・8・9・17

情報経営イノベーション専門職大学及び千葉大学と意欲のある区内企業の連携による成功事例をつくり、その後これらを他の企業に展開していきます。

すみだビジネスサポートセンター

SDGsの目標：8・9・17

区内事業者を継続的にフォローする相談体制を継続するとともに、事業者間連携をさらに推進し、区内事業者の付加価値の向上を目指します。

STEAM人材育成 SDGsの目標：8・9・17

次代を担う子どもたちの主体性や創造性を養い、社会課題に対して自ら対応できる人材を育成します。

ものづくりのまちの持続・発展に向けた連携事業

SDGsの目標：8・9

千葉大学と連携し、材料・道具の供給者等のステークホルダーの現状を生産性と収益性の観点から把握・可視化し、ものづくり文化の事業継続の対策を構築していきます。また、空き工場等を活用し、地域と連携して産業拠点にしていくための仕組みを構築していきます。

本施策に関連するSDGsの目標



フロンティアすみだ塾

施策312

新しい事業を誘引し、産業集積の持続的発展を図る

令和7年度のすみだ 自身が描く未来に向けて挑戦する人材がすみだに集まっています。また、そのような風土に惹かれ、さらに多くの人々が集まることで、新しい事業が興り、新たな産業集積が生まれようとしています。

施策の構成をはかる指標

チャレンジ支援資金の融資あっせん累計件数(これから開業する者及び開業から1年未満の者)

2015(平成27)年度		2020(令和2)年度		2025(令和7)年度	
実績値	73件	中間目標値	425件	現状値	469件
				最終目標値	900件

データ出所:所管課データ

すみだビジネスサポートセンターにおける創業相談件数

2015(平成27)年度		2020(令和2)年度		2025(令和7)年度	
実績値	—	中間目標値	380件	現状値	356件
				最終目標値	410件

データ出所:所管課データ

現状と課題

2017(平成29)年に、すみだビジネスサポートセンターを開設したことによって、よりきめ細やかな相談支援が講じられるようになり、創業希望者が安心して区内創業を行いやすい環境づくりが進みました。また、民間企業がビジネスの一環として設置したシェアオフィスやコワーキングスペースといった施設が区内に点在するようになり、フリーランスという働き方にも対応できる環境が生まれています。

さらに、新ものづくり創出拠点によって、徐々にものづくりにかかわる人材が他都市から区へ引き寄せられているとともに、新たに開学した情報経営イノベーション専門職大学の学生による起業が期待されています。

この流れを活かして、一層区内創業を興し、区内産業集積の持続的発展へとつなげていくためには、既存事業をさらに充実させ、区の産業のまち、ものづくりのまちとしての魅力をより強力で発信していく必要があります。

施策達成のために区が取り組むこと

区内企業や地域金融機関等との連携による創業支援を継続して進めるとともに、学生の起業にも力を注いでいる情報経営イノベーション専門職大学と協力関係を築き、若い世代の創業を促進します。また、創業支援機関との連携を深めていくほか、区で創業することの利点を発信することで創業希望者を区に引き込み、より多くの創業

を興していきます。

区民、事業者が取り組むこと

区民は、区が産業のまちであることを意識し、区内産業の発展を応援します。

区内事業者は、事業者間だけでなく新たな人材やスタートアップ企業との交流や連携を進め、自社の安定や発展に向けた経営に努めます。

施策達成のために区が取り組む主な事業

ハードウェア・スタートアップ拠点構想事業

SDGsの目標：8・9・17

スタートアップ企業をはじめとした多様な企業を呼び込み、区内企業との連携を促進させることで、社会課題の解決につながるイノベーションを生み出していきます。

創業支援等事業計画

SDGsの目標：8

社会状況や区内の創業状況に応じた計画の見直しを加えながら、区内創業支援機関と連携した地域ぐるみでの創業支援を継続して展開していきます。

チャレンジ支援資金の融資あっせん事業

SDGsの目標：8

事業者を取り巻く環境の変化を捉え、区内での創業を後押しするための効果的な支援制度となるよう、区の各種施策と連携しながら実施していきます。

すみだ起業ゼミ

SDGsの目標：8

創業希望者や創業して間もない人材に対して経営に必要な知識を習得する機会を提供し、より堅実な起業と事業の継続を後押ししています。また、社会状況に応じて実施方法に変化を加えながら、継続して実施していきます。

本施策に関連するSDGsの目標



活躍する区内創業事業者

施策313

「ものづくりのまち すみだ」を プロモーションする

令和7年度のすみだ すみだのものづくり企業が、技術やデザイン、経営手法等に高いクオリティを備え、SDGsの視点を踏まえた商品やサービスを提供し、それらをさまざまな手法でプロモーションすることにより、携わる人たちが大きな働きがいを感じています。また、これによって実現される、すみだでの働き方、暮らし方、まちづくりを知った国内外の人々がすみだの取り組みに共感し、すみだのファンになっています。

施策の構成をはかる指標

区が「ものづくりのまち」であることを実感し、誇りに思う区民の割合

2015(平成27)年度		2020(令和2)年度		2025(令和7)年度	
実績値	—	中間目標値	64.8%	現状値	64.8%
				最終目標値	75.0%

データ出所:住民意識調査

区内製造業における付加価値額

2015(平成27)年度		2020(令和2)年度		2025(令和7)年度	
実績値	149,157百万円 (2012(平成24)年)	中間目標値	160,000百万円	現状値	163,760百万円
				最終目標値	170,000百万円

データ出所:経済センサス

現状と課題

これまで東京スカイツリーの誘致決定を機に、国内外の幅広い層の観光客を対象とした観光コンテンツとして、区内生産品や店舗・工房等をアピールすることに注力してきました。とりわけ、区内事業者の公募商品の中から選定・認証を行う「すみだモダンブランド認証」は、開始から10年が経過し、本区のイメージアップに一定の成果を上げました。

一方、近年の消費者の購買活動は商品そのものの評価から、ストーリー性の重視へと変容が見られ、また区内事業者にも商品開発だけでなく、SDGsや社会課題の解決等に取り組む姿が現れ始めました。このことから、今後区では従来の「商品」から「事業者の活動」に対象範囲を広げ、

事業者の積極的・横断的な取り組みを促すとともに、区と事業者がパートナーシップを結び、一体となって「ものづくりのまち」をブランディングしていく姿が国内外で一層認知されるようになる効果的な施策を展開していくことが求められています。

施策達成のために区が取り組むこと

時代の潮流となっている持続可能性、SDGs、エシカル、Society5.0のといった視点を踏まえた豊かさを提供する「ものづくり文化」の土壌の醸成を図ります。ものづくりに関わる働き方、暮らし方、まちづくりの統一的なイメージの強化や、これを体現する先進的な商品・サービス・取り組み・事業等の幅広い支援を行い、区と事業者さらには

事業者同士のネットワークの強化や区内外への情報発信を積極的に展開して、「ものづくりのまち」の気運を高めていきます。

区民、事業者が取り組むこと

区民は、区内生産品の購入や区内事業者の取り組みの認知等を通して、すみだの産業にふれることで、その魅力を広く伝えます。

事業者は、技術の継承・発展、新商品・新技術の開発をはじめ、医療や環境、高齢化といった地域課題の解決に向けたプロトタイプ(試作品)の開発・実装といった事業活動を通して社会の役に立ち、それによって正当な対価を得ます。

施策達成のために区が取り組む主な事業

すみだ3M運動推進事業 SDGsの目標：8・9

認定事業者が自身の背景にある歴史・文化・技術を伝えていくことで、その理念・価値を自ら再確認するとともに地域や次世代への継承を図ることによって産業を活性化させ、実り多い仕事・恵み多い暮らしを実現する「工房文化(ものづくり文化)の都市」の土壌をつくっていきます。

ものづくりプロモーションの推進事業【再掲:施策121】 SDGsの目標：8・17

意欲的に活動する事業者同士が連携し、新型コロナウイルスの影響下でも可能なものづくりイベントを実施できるよう、様々なネットワークを活用して、その実現に向けた働きかけや支援を進めます。また、イベントだけでなく、SNSの普及を意識して効果的なPR媒体の作成・運用に取り組み、「ものづくりのまち すみだ」の更なる認知度向上を図ります。

墨田区ものづくり企業地域共生推進助成金

SDGsの目標：8

区内企業が地域との共生を図るために行う設備更新や工場改修等の経費の一部を助成することで、操業環境を改善し区内産業の持続的発展を促します。

すみだ地域ブランド戦略推進事業(すみだモダン)【再掲:施策321】 SDGsの目標：8・9・17

従来の「商品の認証」から「パートナーづくり」をテーマとし、すみだモダンとして相応しい活動を実践する事業者、あるいはその理念に共感する事業者との定期的なコミュニティを開催するほか、デザイン経営を主眼に置いた区内事業者とデザイナーのコラボによる新商品開発も実践し、効果的なプロモーションを行うことで、区・事業者等の共創による「ものづくりのまち」としてのブランド力を向上させ、区内の経済活動を活性化させていきます。

本施策に関連するSDGsの目標



3M運動・製作体験の様子



3M運動・小さな博物館展示

政策320

こだわりをもった魅力ある商業・サービス業の集積を進める

令和7年度のすみだ



消費者ニーズを的確にとらえるとともに、SDGsやエンカル消費といった考え方に寄り添った、より豊かな生活を提供するとともに、こだわりをもった魅力的な商業・サービス業が多数集積しています。また、地域の特色をもったにぎわいある商業空間が広がるとともに、各個店が新型コロナウイルス感染症拡大による新たな生活様式にも対応し、区内外の消費者が買い物や食事を楽しんでいます。



施策の体系

政策320 こだわりをもった魅力ある商業・サービス業の集積を進める

施策321 消費者から選ばれる魅力ある個店の集積を進める

- 商店魅力アップ支援事業
- 商業コーディネーター派遣事業
- 個店PR支援事業
- すみだ地域ブランド戦略推進事業(すみだモダン)

施策322 地域の資源を活かした、特色ある商業空間を創出する

- 地域特性を活かした商店街づくり事業
- 商店街支援組織活性化事業
- 新たな商店会組織創出事業

政策を取り巻く現状

区内の商店は、地域コミュニティのなかで中心的役割を果たしてきました。特に商店街は、区民の日常生活を支える存在であるとともに、地域文化の継承・発展の場として、今もなお、地域の「顔」として活躍をしています。

しかし、消費者ニーズの多様化や大型店との競

争の激化等、小売業を取り巻く社会経済環境は厳しさを増し、転廃業を余儀なくされ、売上額・小売店舗数は減少傾向にあります。さらに、店主の高齢化や空き店舗の増加等から、商店街そのものの存続が危ぶまれるところも少なくありません。

そのなかで、2006(平成18)年3月に東京スカ

イツリーの誘致に成功したことにより、本区の商業にも観光対応という新たな活路が見出されています。2007(平成19)年には「商業活性化すみだプログラム」を策定し、従来の地域密着型のほか、観光対応による活性化等、地域ごとの特色に応じた商店街振興策を展開しています。魅力ある個店や地域の特色を活かした商店街は、メディアにも取り上げられ、区内外から多くの顧客を集める等、観光施策と連携した商業活性化事業の成果があらわれ始めています。加えて、2010(平成22)年の「墨田区商店街活性化に関する条例」の制定以降、各商店会の法人化や墨田区商店街振興組合連合会の設立等、それぞれの団体が自主的かつ積極的な活動を行うための組織強化も進んでいます。

一方、近年では、下町らしいまちなみ等が好まれ、すみだで新たに店舗を構える感性の高い経営者もみられます。また、これら経営者やアーティスト等の異分野の人材と既存商店街が連携し、その商店街でしか味わうことができない魅力的なイベント等も区内各地で生まれています。そのような中、コロナウイルス感染症拡大によりテレワークが普及し、それまで自宅から離れた場所に通勤していた区民が地域で過ごす時間が増え、これまで以上に自宅近くで買い物や食事を楽しむ機会が多くなっています。この機会をとらえ、区内の商店や商店街は、これまで以上に魅力的で顧客に喜ばれる品ぞろえやサービスが求められています。

政策実現に向けての課題

区民はもとより、区外からも感性の高い消費者を引きつけるため、地域の特性や多様化した消費者ニーズに対応するとともに、こだわりのある品ぞろえ、おもてなし等、消費者から選ばれる個店づくりの支援を積極的に行う必要があります。また、区内に点在した、個性あふれる魅力的な個店等の情報を、区内外に広く発信していく必要があります。

また、商店街は、地域の歴史的・文化的資源を

活かしていくとともに、今後も地域コミュニティの核としての役割が求められています。これまで以上に幅広い商業振興を展開していくために、商業のみの活性化を目指すのではなく、地域全体の活性化のなかで商業振興も達成していくという視点にたった取り組みが必要となります。

さらに、本区は、観光の効果を区全域に浸透させることをめざしていることを踏まえ、地域密着型の商店街が観光客も顧客として取り込む商業空間を創出していかなくてはなりません。そのためには、既存の個店及び商店街の努力に加え、新たにすみだで店舗を構えた経営者やアーティスト等の外部人材を活用することによる区内外に広がるネットワークの構築等、魅力ある商業空間づくりに向けた環境整備により、店主の意欲を喚起していくことが求められています。

加えて、近年では、地理的なつながりではなく、目的でつながる商業グループの存在もあり、このようなさまざまなテーマをもった有志の商店群の活動を、商店街の活性化にも資する形で積極的に支援していくことも、すみだの商業空間の魅力向上の観点からも必要です。また、新型コロナウイルス感染症の拡大を受けて、キャッシュレス決済への対応をはじめとした新しい生活様式にも的確に対応し、安心して利用できる個店づくりが重要になっています。

本政策に関連するSDGsの目標



施策321

消費者から選ばれる魅力ある個店の集積を進める

令和7年度のすみだ 消費者のニーズに的確に対応するとともに、新たな提案を行うことができ、利用者が「何度も行きたい」と思うような魅力的な個店が集積し、多くの消費者が訪れ、買い物や飲食、サービスを楽しんでいます。

施策の構成をはかる指標

「区内になじみの店がある」区民の割合

2015(平成27)年度		2020(令和2)年度		2025(令和7)年度	
実績値	75.1%	中間目標値	78.0%	現状値	72.5%
				最終目標値	80.0%

データ出所:区民アンケート調査

個店の魅力アップのための取り組み数

2015(平成27)年度		2020(令和2)年度		2025(令和7)年度	
実績値	—	中間目標値	200件	現状値	200件
				最終目標値	300件

データ出所:所管課データ

現状と課題

本区の中小小売店は、高齢化、後継者の不在、店舗施設の老朽化、大型店との競合等により厳しい環境にさらされ、小売業の事業所数は減少傾向にあります。一方、きらりと光る個性やこだわりを持ち、消費者の感性に強く訴える個店は、メディアに取りあげられるなど注目されており、区内外から多くの顧客を集めています。

今後、個性豊かで感性あふれる店舗づくりや品ぞろえ、おもてなしの接客等、消費意欲を喚起させる魅力的な個店を多く育てるとともに、新たに本区で開業をした個店を地域に根づかせる取り組みが求められます。そのためには、必要に応じた環境整備やPR支援等を積極的に行う必要があります。

施策達成のために区が取り組むこと

魅力ある個店づくりを応援するとともに、こだわりの店の発掘やPRを行う等、個店の積極的な事業展開への支援を行っていきます。効果的な情報発信や受け入れ態勢の充実により、店の魅力が誰にも伝わり、それぞれの個店がまち歩きのポイントとなることで、何度も訪れてみたくなる個店が集積していくことを目指します。

また、このような取り組みを通して、SDGsに掲げられた持続可能な経済成長、人々の働きがいの向上を図ります。

区民、事業者が取り組むこと

区民は、区内の魅力的な店を再発見し、買い物や飲食、サービスを楽しみ、多くの人にその店の魅力を伝えます。

事業者は、自分の店のもつ特徴やこだわりを磨き上げるとともに、事業者間のネットワーク等を活かしながら、積極的に広く情報を発信します。

施策達成のために区が取り組む主な事業

商店魅力アップ支援事業 SDGsの目標：12

買い物客や観光客を呼び込み、豊かな消費活動を形成していくために、個店への支援を継続し、魅力ある個店づくりを推進します。

商業コーディネーター派遣事業 SDGsの目標：12

商業コーディネーターの派遣を通して、消費者ニーズの多様化や商取引の変化等の課題解決に取り組むとともに、事業者間の交流を図り、次の成長につながるネットワークを形成します。

個店PR支援事業 SDGsの目標：12

引き続き、区民の身近にあって親しまれているお店や、日常生活を豊かにするこだわりをもつお店を発掘し、区内外にPRしていくことで、個店の売上増加や顧客開拓につなげます。

すみだ地域ブランド戦略推進事業(すみだモダン)【再掲:施策313】 SDGsの目標：8・9・17

本区の産業・ものづくりブランドを「すみだモダン」とし、区内の事業所や飲食店での「すみだモダン」ロゴマークの訴求や従来のブランド認証商品の活用等、一体的なプロモーション及びブランディングを図り、魅力ある個店の集積を推進します。

本施策に関連するSDGsの目標



こころ、ゆさぶる。
すみだ
モダン

すみだ地域ブランド戦略推進事業(すみだモダン)

施策322

地域の資源を活かした、特色ある商業空間を創出する

令和7年度のすみだ 活気にあふれた商業空間で区民や観光客が快適に楽しんでいる一方で、買物弱者へのきめ細やかな対応等、商店街や個店が地域とのつながりをより深めています。

施策の構成をはかる指標

「誰かを誘って食事や買い物をしたい場所が区内にある」区民の割合

2015(平成27)年度		2020(令和2)年度		2025(令和7)年度	
実績値	69.8%	中間目標値	75.0%	現状値	75.8%
				最終目標値	80.0%

データ出所:区民アンケート調査

創業支援(チャレンジ支援資金)融資のうち小売・飲食に係る実行数

2015(平成27)年度		2020(令和2)年度		2025(令和7)年度	
実績値	32件	中間目標値	42件	現状値	41件
				最終目標値	52件

データ出所:所管課データ

現状と課題

区内には、後継者の不在や転廃業等により店舗数が減少し、組織が弱体化したことで、かつてのにぎわいを失いつつある商店街があります。本区は、イベントの実施や空き店舗活用等、商店会が実施する様々な事業の支援を通じて、商業活性化を図ってきました。

さらなる商業活性化のために、地域特性を踏まえて各地域の商業活性化策を検討し、特色ある商業空間づくりを進める必要があります。また、近年、増え始めている商業や飲食業を通じた有志の個店グループの活動については、商店街の活性化に資する形で積極的に支援をしていき、すみだの商業集積の特色の一つとしていく必要があります。さらには、商店街が発展していくために

は、商店街組織の強化とともにけん引役となるリーダーの育成が求められています。

さらに、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により変化した消費行動や商取引形態に対応していくため、キャッシュレス決済をはじめとした「新しい生活様式」に対応するための取り組みを検討していく必要があります。

施策達成のために区が取り組むこと

地域特性を活かした商業振興活動を展開するため、商店街組織等に対して、商店街巡回相談員の派遣、イベント事業への補助、商店街間の相互連携等の支援をします。また、商店街という立地上の枠を超えた新たなネットワークも生まれて

おり、それらのグループが実施する集客のための自発的活動についても、PRをはじめ、マーケティングに資する情報の提供等の側面的支援を展開していきます。

また、このような取り組みを通して、SDGsに掲げられた持続可能な経済成長、人々の働きがいの向上を図ります。

区民、事業者が取り組むこと

区民は、地域の商店街や個店で買い物を楽しみ、地域の良さを再発見し、地域商店街を積極的に活用します。

事業者は、地域のほかの事業者と協力をしながら、何度でも訪れたい魅力的な商業空間づくりに取り組みます。

施策達成のために区が取り組む主な事業

地域特性を活かした商店街づくり事業

SDGsの目標：12

商店会等が実施するイベント事業や商業環境の整備のための事業に対する支援を継続し、これまでの実績を踏まえてより一層効果的・効率的に実施することで、特色ある商店街づくりを実現し、商店街を中心とした商業空間の活性化に寄与します。



キッチンカー販売の様子

商店街支援組織活性化事業

SDGsの目標：12

墨田区商店街振興組合連合会及び墨田区商店街連合会への支援を継続し、商店会組織の若返りや人材育成、加盟店増加、新たな商店会組織結成のための支援策の実現を図ります。

新たな商店会組織創出事業

SDGsの目標：12

区内に新たに結成した商店会組織が、商店街や地域のための取り組みを実施する場合に、補助金を交付することで、結成間もない商店会への手厚い支援を実施します。

本施策に関連するSDGsの目標

12 つくる責任
つかう責任



商店街イベント

政策330

誰もが輝きをもって働けるしくみをつくる

令和7年度のすみだ

働きやすい環境が整備され、持続的な発展に必要な人材の確保・定着が進み、誰もが個々の能力に応じて働きがいをもって仕事をしています。



施策の体系

政策330 誰もが輝きをもって働けるしくみをつくる

施策331 働きやすく、働き続けられる職場の整備を促す

- 就職支援コーナーすみだ
- 人材確保支援事業
- 男女共同参画講座(働く人向け)事業

政策を取り巻く現状

誰もが個々の能力を活かしながら働き、一方で、地域産業の活力維持に欠かせない人材を確保するため、本区ではハローワーク墨田と連携し、雇用促進・就労支援に取り組んできました。

現在、区庁舎内にあるすみだ就職相談室「就職支援コーナーすみだ」では、求職相談員による就職相談・職業紹介を実施し、2020(令和2)年度までの5年間に延べ約32,000人の方が利用しています。

また、若年層の雇用の不安定化に対応するため、「若者サポートコーナー」を設置し、39歳以下の若者に対して個別相談や就職活動支援セミナーを実施してきました。

2018(平成30)年度からは、女性活躍を推進するため、対象を子育て世代等の女性に拡大し、名称を「就職・仕事カウンセリングルーム」に改め、キャリアカウンセリングを実施しています。また、2022(令和4)年度からは新たに人材確保支援事業を展開し、区内中小企業の人材確保や働きやすい環境の整備を支援しています。

政策実現に向けての課題

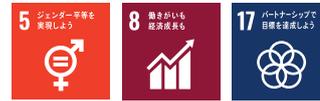
本区は、多様な産業が集積する、区内でも有数の中小企業のまちです。今後も持続的に発展していくためには、働きがいをもって働き続けられる環境を整えるとともに、区内中小企業の必要とする人材が十分に確保されていることが必要です。

2018(平成30)年6月には働き方改革関連法が成立し、2019(平成31)年4月以降、順次施行されています。中小企業においても、多様で柔軟な働き方の実現、公正な待遇の確保等への取り組みが求められています。

また、2020(令和2)年卒の大卒求人倍率は、従業員300人以上の企業では1.09倍であり、300人未満企業では8.62倍と、中小企業においては人材確保が厳しい状況が続いています。

さらに、新型コロナウイルス感染症に伴う社会経済状況の大きな変化は、雇用情勢や就労意識に大きな影響を与えています。

本政策に関連するSDGsの目標



施策331

働きやすく、働き続けられる職場の整備を促す

令和7年度のすみだ 区内中小企業の働きやすく、働き続けられる環境が整備されることで、誰もが個々の能力・適性に応じて、働きがいをもって仕事をしています。

施策の構成をはかる指標

「仕事をすることで、充実した生活を送れている」区民の割合

2015(平成27)年度		2020(令和2)年度		2025(令和7)年度	
実績値	73.2%	中間目標値	76.6%	現状値	78.8%
				最終目標値	80.0%

データ出所:区民アンケート調査

区の合同企業説明会で参加企業が採用した割合

2015(平成27)年度		2020(令和2)年度		2025(令和7)年度	
実績値	—	中間目標値	30.0%	現状値	36.8%
				最終目標値	40.0%

データ出所:所管課データ

現状と課題

本区では、ハローワーク墨田と連携し、区庁舎内に就職支援コーナーすみだを開設し、求職相談員による就職相談・職業紹介を行っています。また、39歳以下の若者及び子育て世代の女性を対象として就職・仕事カウンセリングルームを開設し、キャリアカウンセリングを実施しています。区内中小企業を集めた合同企業説明会では、2019(令和元)年からの2か年で15人が参加企業に就職しました。

2019(平成31)年4月からは、働き方改革関連法が順次施行され、中小企業においても、多様で柔軟な働き方の実現、公正な待遇の確保等への取り組みが求められています。さらに、世界的な社会経済状況の大きな変化は、雇用情勢や就労

意識に大きな影響を与えています。

施策達成のために区が取り組むこと

区民が個々の能力や適性に応じて働きがいをもって仕事ができ、区内企業が必要な人材を確保し持続的な発展につながるよう、効果的な支援事業を実施します。

区民、事業者が取り組むこと

区民は、みずからの能力や適性を発揮しつつ、安定した生活に努めます。

区内事業者は、持続可能な区内産業の発展のために、従業員が働きがいをもって仕事ができるよう、人材の育成や職場の環境整備に努めます。

施策達成のために区が取り組む主な事業

就職支援コーナーすみだ SDGsの目標：8・17

ハローワーク墨田と連携し、就職相談、求人情報の提供及び職業紹介を実施し、就職を希望する区民を支援します。また、生活保護受給者など生活困窮者を対象に、就職支援ナビゲーターによる個別相談を実施します。



就職相談会の様子

人材確保支援事業 SDGsの目標：8

区内中小企業の人材確保や働きやすい職場環境の整備を支援します。

男女共同参画講座(働く人向け)事業

SDGsの目標：8・9

再就職を希望する女性のための情報提供セミナーや両立支援講座等、働く人を男女共同参画の視点から応援する講座を実施します。

本施策に関連するSDGsの目標



